



高原の自然館ニュースレター

# 苅尾電波塔

第 63 号

2009.4.1

高原の自然館

苅尾（かりお）とは、広島県北広島町芸北にある山の名前です。  
一般には臥竜山として知られていますが、地元の人たちは親しみをこめて「かりお」  
の名前をつけています。

## も く じ

### おしらせ

- 『苅尾 17 号』の原稿を募集
- 2009 年度の観察会日程が決定

### 活動報告

- 雪原のトレッキング（3 月）

### 観察会案内

- 山焼き後の雲月山観察会
- カスミサンショウウオの産卵調査

## お し ら せ

### ● 『苅尾 17 号』の原稿を募集

西中国山地自然史研究会の会報『苅尾』の原稿を募集しています。内容は西中国山地の自然や動植物に関する情報や自然に関わる活動報告、自然賛などで、600～1600 字程度にまとめてください。今回は草原の特集を組む予定です。雲月山や千町原など、草原にまつわる記事があれば、ぜひご投稿ください。写真を大歓迎します。あなたのみつけた小さな発見を、会員のみなさんにも伝えてください。

### ● 2009 年度の観察会日程が決定

2009 年度の観察会日程が決定しました。詳しくは観察会案内のページをご覧ください。

いつもの観察会があり、新たな場所での観察会もありと今年度も充実した観察会になりそうです。

問い合わせやお申し込みは、高原の自然館までお気軽にどうぞ。

## 観 察 会 報 告

### ● 雪原のトレッキング

開催日時:2009年3月8日(日)10:00

ちょっと冷え込みましたが、その分日中は晴天で気持ちよい中、観察会の始まりです。雪のすっかり消えたパークゴルフ場を横切り、まずはモグラのお話。そこここにモグラ塚(モグラがトンネルを掘り進んで途中とどこころ地上に土を出した跡)がありました。このあたりにいるのはコウベモグラです。ミミズを食べるモグラは、歯がすり減ると寿命がつかさうです。ホオジロの♀がノリウツギの小枝にとまり、チチッと地鳴きしていました。ハタネズミが掘り進んだ溝跡にはフンがあり、ほんのり草色をしていました。アカゲラがキッキキと鳴き、♀の姿を確認できました。そしてオオアカゲラも双眼鏡で確認することができ、大きさ・色の違いをはっきり見ることができました。ウサギのフンも雪解けで、まるで一カ所でしたように多数見ることができました。クマイチゴは1メートル以上も上の枝がすっぱり喰いきられていて、冬の積雪量を知ることができました。常緑のエゾユズリハも、冬はネズミやヤマドリのエサになり、所々食いちぎられていました。登り切って千町原を見渡せる扇谷ではイノシシの堀跡も見られました。雪が解け、日差しも暖かいのでちょこちょこ動き回るジグモも観察できました。まだ動きの鈍いカナヘビは捕まえられて、みんなの注目を浴びていました。ホオジロの♂が二足歩行でエサをついばんでいる姿やソングポストで春の縄張り宣言をしている姿も数カ所見ることができました。また、ノスリは2羽が交互に空中で交差し、急降下して波状ディスプレイする姿を観察できました。その他にウソ・ツグミ・ヒヨドリ・トビも観察できました。ハシバミの雄花はまだ固そうでしたが、ハンノキの雄花はもうかなり伸びきって今春の受粉も間近です。クロモジの花芽と葉芽、ホオノキの冬芽、雪解けで緑の姿を現したコバノフユイチゴなど、春に備える植物の姿も色々観察できました。昨年使用のメジロの巣・カラスの巣も見ることができました。残念ながら雪は所々に残るだけでしたが、冬の痕跡と春の訪れをゆっくり楽しめた観察会でした。(やなぎざきのぶこ)



モグラが活動したことがわかるモグラ塚がいたるところにあった。



まだ動きが鈍いカナヘビ。おかげでじっくり観察できた。



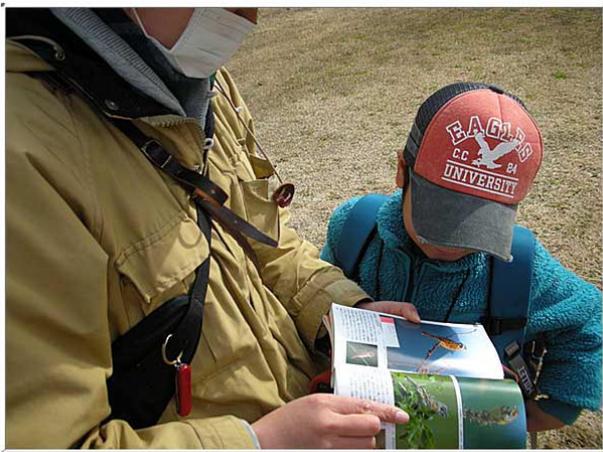
雪がないので、足取りも軽やかにトレッキング。



いちはやくナワバリを張るためにさえざるホオジロ(♂).



メジロの巣を発見。巣材の一部にナイロン製のロープが使われるようになり、ヒナの巣立ち時の事故があることを聞いた。



ホオジロの姿を図鑑で確認中。



上野先生の説明を聞きながら、ノスリのディスプレイを観察中。

### 【みなさんの印象に残った物】

「モグラの寿命と歯の関係」「ノスリのディスプレイが見れた事」「オオアカゲラ ノスリのディスプレイ(2)」「オオアカゲラ」「鳥がよく見えた」「ノスリを観察出来た。カラスの巣が見られた」「ホオジロの鳴いている顔を初めて見てカワイらしいと思ったこと」「メジロの巣(きれいな丸半分出来てる所に感心した。)ウサギのフン、カラスの巣(おおざっぱな感じ)ホオジロの姿が双眼鏡ではっきり見えた。」

### 【参加したみなさんの感想(抜粋)】

「分かりやすく説明していただいて良かった」「天気もよくこれからの野や山に行ける事の楽しさを感じさせてくれるトレッキングでした。雪がなくて残念でした。」「天気もよく気持ちよく観察できました。鳥がたくさん見れてよかったです。ホオジロが縄張り宣言をがんばっていました。」「ホオジロがたくさん観察できました。なわばり50m〜がよくわかりました」「風もあまりなく、天気にもぐまれて、とても楽しく歩きました。思ったより雪が少なかった」「春へむかって生きものが変化しているのを感じることができました。」「雪がなくていまいちでしたがそれなりに観察出来て(春芽など)よかった」「空気がキレイで体調が良くなりました。野鳥観察の楽しさを知ることができました。」「前回とまた違い、雪が溶けて野鳥や植物の花芽が観察でき、春を感じる事ができた。」

## 観 察 会 案 内

観察会に参加される時には、次のようなものを持参してください。カメラ、双眼鏡、ルーペ、図鑑などもあれば、楽しいと思います。

**基本セット**：山を歩ける服装、雨具、飲み物、おやつ、筆記用具、メモ帳  
**作業セット**：作業ができる服装、長靴、軍手、雨合羽、飲み物、おやつ

### ● 山焼き後の雲月山観察会

開催日時：2009年4月26日(日)9:30  
集合場所：雲月山駐車場  
講師：和田秀次・佐久間智子  
準備：基本セット、お弁当  
定員数：30名  
参加費：300円(ただし、西中国山地自然史研究会会員は100円、中学生以下は無料)

山焼きから2週間後、雲月山はどんな様子になっているのでしょうか。火入れが及ぼす植物への影響のお話を聞いたり、雲月山の景観を楽しめる観察会です。ゆっくりと山歩きをしながら、観察しましょう。

### ● カスミサンショウウオの産卵調査

開催日時：2009年4月29日(水)9:30  
集合場所：高原の自然館  
講師：内藤順一  
準備：作業セット  
定員数：30名

毎年行われているカスミサンショウウオの産卵調査です。班にわかれ、卵塊や成体を探す、5感を使う調査です。初心者でも簡単に行える調査ですので、お気軽にご参加下さい。

### ● 2009年度のイベント計画について

2009年度のイベント計画をお知らせします。なお、日程は変更になる場合がありますので、毎回の苅尾電波塔にご注意ください。

2009年

- 5月 9日 大遣山の春植物観察会
- 24日 プナ林の野鳥観察会
- 6月 13日 龍頭山の野鳥観察会
- 14日 聖・高岳の植物観察会
- 20日 苅尾の昆虫観察会
- 7月 5日 霧ヶ谷湿原 夏のいきもの観察会
- 26日 こども観察会 - 自然で遊ぼう -
- 8月 8日 可愛川の水生生物観察会
- 9日 カワシンジュガイの観察会
- 9月 12日 霧ヶ谷湿原 秋のいきもの観察会
- 10月 10日 サツキマスの観察会
- 11日 キノコ観察会
- 11月 7日 ゴギの産卵観察会
- 紅葉と冬芽の観察会
- 15日 八幡高原の野鳥観察会
- 23日 千町原草原の保全活動 - 樹木の伐採と草刈り -
- 12月未定 かんじき作り

2010年

- 1月 16日 冬を生きる動物たちの生態
- 2月 21日 雪原のトレッキング
- 3月 6日 早春のトレッキング

待ち遠しかった春がやってきました。先日テレビで、「何をみたら、春がやってきたと感じますか?」という質問に「桜のお花見」や「花粉症になったら」といった答えが多くありました。私の場合は、「フキノトウが芽生えているのを見たとき」に、春の訪れを感じます。あの青々しい香りと味も大好きです。みなさんはどんな時に春を感じますか?(この)

記事に関するお問い合わせ、観察会のお申し込み先  
(ご意見・ご感想もお待ちしております)

高原の自然館(こうげんのしぜんかん)

〒731-2551 広島県山県郡北広島町東八幡原 119-1

tel. & fax : 0826-36-2008

<http://shizenkan.info/>

[staff@shizenkan.info](mailto:staff@shizenkan.info)